

農学委員会 応用昆虫学分科会（第24期・第2回）議事要旨

日時：平成30年7月28日（土）9:30～11:00

場所：東京大学農学部1号館1階121-3室（生産・環境生物学専攻演習室）

出席者：池田素子、小野正人、澤邊京子、志賀向子、嶋田透、大門高明、
辻和希、沼田英治、石川幸男（オブザーバー；日本昆虫科学連合代表）

欠席者：塩尻かおり、深津武馬

議題

- (1) 議事要旨の承認の方法について
- (2) 「衛生害虫による被害の抑制をめざす衛生動物学の教育研究の強化」に関する提言について
- (3) 「学士課程における昆虫学教育のあり方」に関する提言(または報告)
- (4) 特任連携会員候補者の推薦について
- (5) 公開シンポジウム「昆虫の恵み II」について
- (6) その他

配布資料

- 【1】 応用昆虫学分科会 委員名簿（第24期 2017-11-24 現在）
- 【2】 応用昆虫学分科会（第24期 第1回 2017-12-8）議事録
- 【3-A】 提言(案)「衛生害虫による被害の抑制をめざす衛生動物学の教育研究の強化」
（23期「記録」から加筆修正）
- 【3-B】 獣医学分科会からの意見と、提言（案）への反映
- 【3-C】 病原体学分科会への審議の依頼
- 【4】 当分科会から全国農学系学部長会議（2018-5-22）への依頼文書「農学系学士課程における昆虫学教育のあり方」情報収集へのご協力(お願い)
- 【5】 特任連携会員推薦様式
- 【6】 今日の公開シンポジウム「昆虫の恵み II」での当分科会の活動報告要旨（小野委員長）
- 【7】 応用昆虫学分科会 活動報告（第24期 初年度=2017年10月～2018年9月）
- 【8】 農学委員会・食料科学委員会合同会議議事メモ（第24期 第2回 2018-4-4 開催）

議事

応用昆虫学分科会を構成する 10 名の委員のうち 8 名の委員の出席により、第 2 回分科会の成立要件が確認された後、定刻通り開会された。

(1) 議事要旨の承認の方法について

- ・議事要旨の承認の方法について検討し、8 週間以内に次回の分科会の開催が決定されない場合は、議事要旨案の内容を委員がメールなどで確認し、合意形成に至った後、委員長に承認を一任する方針が承認された。

(2) 「衛生害虫による被害の抑制をめざす衛生動物学の教育研究の強化」に関する提言について

- ・資料【3-A】、【3-B】、【3-C】に基づき、獣医学分科会からの意見を反映させた提言(案)の内容の検討を行った。その後、澤邊委員、嶋田幹事より、病原体学分科会への審議依頼について報告がなされた。その後、提言の発出へ向けた手続きとスケジュールについて確認した。

(3) 「学士課程における昆虫学教育のあり方」に関する提言(または報告)

- ・資料【4】に基づき、小野委員長より、学士課程における昆虫学教育のあり方に関する提言(または報告)について、全国農学系学部長会議を通してアンケート調査を行う方針が示され、承認された。その後、アンケート調査のスケジュールについて検討した。本年 9 月下旬を目処にアンケートの具体的な項目について、案の策定を目指すものとした。

(4) 特任連携会員候補者の推薦について

- ・特任連携会員候補者の推薦について議論し、現時点では、候補者を推薦しない方針が承認された。

(5) 公開シンポジウム「昆虫の恵み II」について

- ・石川オブザーバーより、当日午後開催の日本学術会議シンポジウム「昆虫の恵み II」についての報告がなされた。次に、日本昆虫科学連合の 2017 年度事業報告、2018 年度事業計画案、次期役員を選出等についての報告がなされた。また、第 27 回国際昆虫学会議(ICE2024)招致委員会が日本昆虫科学連合内に置かれたことが報告された。

(6) その他

- ・資料【8】に基づき、池田副委員長より、農学委員会・食料科学委員会合同会議（第24期・第2回）の議事についての報告がなされた。
- ・沼田委員より、第27回国際昆虫学会議(ICE2024)招致委員会の活動報告がなされた。
- ・辻委員より、日本におけるヒアリのモニタリング調査の状況と、中国におけるヒアリ防除の現状についての情報提供がなされた。

以上